

令和 2 年度使用

小学校用教科用図書研究資料（総評）

【書 写】

教科用図書北諸県採択地区協議会

発行者	総 評	備考
2 東京書籍	<p>(1) 単元の配列については、基本的事項を練習した後に国語科と連動させた言語活動「生活に広げよう」を配置することで、日常生活に生きて働く力を育成するような工夫が見られる。</p> <p>(2) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、身近な硬筆の文字から課題をつかませたり、自己評価だけでなく、友達との話合いで振り返りをさせたりする工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や使用上の利便性については、学習事項がひと目で分かるインデックスや利き手を配慮した書き込み欄を設けることで、円滑な活動を推進するような工夫が見られる。</p> <p>(4) 文字を正しく整えて書くことに関しては、学習のポイント「書写のかぎ」を使って、他の文字と関連させながら習熟させる「生かそう」を設定し、学習内容の確実な定着を図るような工夫が見られる。</p> <p>(5) 児童が主体的に学習できるように、硬筆文字の観察や比較から課題を設定し、学習のポイントを示した「書写のかぎ」で書き方を考え、硬筆や毛筆の練習で技能を身に付けるという学習過程になっている。また「書写のかぎ」を生かして、硬筆で他の文字を教科書に書き込むことで、学びのよさを実感できるような工夫が見られる。</p>	<p>5 年 p24, 25</p> <p>5 年 p10</p> <p>4 年 p20, 21</p> <p>4 年 p22</p> <p>4 年 p12</p>
11 学校図書	<p>(1) 単元の構成に関しては、学習の流れを「確かめて書こう」「考えて書こう」「生かして書こう」の3段階に分け学習させることで、学習のめあてに到達させるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「書写の資料館」で文字にかかわる様々な資料に触れさせたり、メモやはがき、便箋など実生活に生きる練習をさせたりする工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や使用上の利便性については、硬筆教材は書き込み欄を多く設けて、書いて確かめられる練習を行わせることで、学習後も学習効果を確認できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 文字を正しく整えて書くことに関しては、学習のポイントを生かしたり、習熟を図ったりする「ふり返ろう」を設定することで、身に付けた書写の力を児童が実感できるような工夫が見られる。</p> <p>(5) 児童が主体的に学習できるように、課題文字の試し書きをすることで課題意識をもたせている。そして学習のポイントを示した「書き方のカギ」を使って、硬筆や毛筆の練習をしたり、他の文字を教科書に視写したりする学習過程になっている。また、試し書きとまとめ書きを比較することで、学習の成果を実感できるような工夫が見られる。</p>	<p>5 年 p10～13</p> <p>5 年 p38～53</p> <p>5 年 p15, 16</p> <p>5 年 p21</p> <p>5 年 p32, 33</p>

17 教育出版	<p>(1) 単元の配列については、他教科と連動させた言語活動「レッツ・トライ」「書いて伝え合おう」を配置することで、日常生活に生きて働く力を育成するような工夫が見られる。</p> <p>(2) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、自分の課題や目的に合った文字、筆記用具を選ばせたり、案内状やお礼の手紙など相手を意識して表現させたりする工夫が見られる。</p> <p>(3) 児童にとっての分かりやすさについては、文字の組み立て方を色分けして示すとともに、字形を整えるポイントを文字の比率で可視化できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 文字を正しく整えて書くことに関しては、学習してきた各単元をふり返る「もう一度確かめよう」を設定することで、学習内容を確実に習得することができるような工夫が見られる。</p> <p>(5) 児童が主体的に学習できるように、めあてや課題解決のための観点、学習のポイント「ここが大切」が提示されており、児童が自力で解決していく学習過程となっている。また、硬筆で教科書に書き込んだ学習のはじめの試し書きと、終わりのまとめ書きの比較や「ふり返ろう」に書き込んだ自己評価で、学習の成果をすぐに実感できるような工夫が見られる。</p>	<p>5 年 p19</p> <p>4 年 p34, 35</p> <p>5 年 p31, 42</p> <p>5 年 p13</p> <p>5 年 p40</p> <p>5 年 p23</p>
38 光村図書出版	<p>(1) 単元の構成に関しては、学習の流れを「考える」「確かめる」「生かす」の3段階に分け学習を進めることで、見通しをもたせ、学習のめあてに到達させるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、さらに見やすいレイアウトについて考えさせたり、「漢字図鑑」で成り立ちを解説し、文字への関心を高めたりする工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や使用上の利便性については、毛筆教材を大きく示し、同ページに朱墨で筆順が分かるものを掲載することで、児童が学習に取り組みやすくするような工夫が見られる。</p> <p>(4) 文字を正しく整えて書くことに関しては、シンプルで分かりやすい学習過程の提示や、学習のポイントがひと目で分かる「たいせつ」を設定することで、学習の定着が図られるような工夫が見られる。</p> <p>(5) 児童が主体的に学習できるように、硬筆や毛筆の文字の観察や比較で課題を見つけ、整った文字の原理・原則を考え、学習のポイント「たいせつ」で確認し、練習で技能を身に付けるという学習過程になっている。また「たいせつ」を生かして、硬筆で他の文字を教科書に書き込むことで、学びを確認し、よさを実感できるような工夫が見られる。</p>	<p>4 年 p2, 3</p> <p>4 年 p21, 31</p> <p>4 年 p15</p> <p>4 年 p22</p> <p>4 年 p14</p>

116 日本文教出版	(1) 単元の配列については、これまでの学習を生かし、自分で題材を選択できる「学習をいかして」を配置することで、日常生活に生きて働く力を育成するような工夫が見られる。	5 年 p34, 35
	(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、低学年から水書による学習を取り入れて適切な運筆能力を意識させたり、「できたかな」で学習の成果を児童に振り返らせたりする工夫が見られる。	2 年 ふろく
	(3) 学習効果や使用上の利便性については、パンダのキャラクターを通して学習のポイントや文字に関する知識を明示することで、主体的な学習が進められるような工夫が見られる。	3 年 p16
	(4) 文字を正しく整えて書くことに関しては、学習したことの習熟を図り、他の言葉や文を書く活動につながるための「いかす」を設定することで、確実に学習内容を身に付けさせるような工夫が見られる。	3 年 p18
	(5) 児童が主体的に学習できるように、試し書きで自分の課題を見つけ、めあてや学習のポイントを確認し、硬筆や毛筆の練習で技能を身に付けるという学習過程になっている。また、試し書きとまとめ書きの比較や学習を振り返る「できたかな」で教科書に自己評価を書き込むことで、学びのよさをすぐに実感できるような工夫が見られる。	3 年 p24